もみじ福祉会　ニュース

がんばろうや

2001年2月　第25号

発行／社会福祉法人
もみじ福祉会
MOMIJI

知的障害者授産施設（通所）　第一もみじ作業所
身体障害者通所授産施設　第二もみじ作業所
グループホーム　つばさ・たんぽぽ
〒730-0823　広島県広島市中区吉島西2－1－24
TEL(082)243-0331　FAX(082)243-0497
HP：www.fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの（骨子）

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1．仲間（利用者）の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2．地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3．事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4．これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

21世紀を迎えて

もみじ福祉会　理事長
浜崎　勝

21世紀を迎えました。様々な立場や年齢層、そして個人として、それぞれが21世紀へ向けての夢や決意を持ったことと思います。内容はともかく、一番肝心なことは、百年に一度の区切り目を一緒に越え共に生きる世代の仲間として、老いも若きも大人も子どもも違いを越えて改めて「連帯」の絆を強めることではないでしょうか。

そして、すばらしい21世紀を創造し共に生きるために、力を合わせたいと思います。

過去・現在と未来の接点にいて

もみじ作業所・福祉会にとっての21世紀はどうあるべきでしょうか。

新しい出発には、これまでの成果と課題（過去・現在）を踏まえ未来を展望することが大切です。

年末には、マスコミを通して20世紀を特徴づける様々な状況が特集されました。20世紀は、新幹線や高速道路などの交通網の発達。高層建築ラッシュ。コンピュータなどの情報化・国際化の発展など、総じて経済成長と「効率化・便利さ」が大きな特徴と言えます。併せて障害者福祉も様々な形でバリアフリーが進みました。もみじ作業所でも、仲間や保護者の要求の高まりと多くの人たちの支援で、法人化やグループホームづくりが進展しました。この実現も20世紀の時代の流れを背景にしたものであったことは間違いありません。

しかし、一方では20世紀は、少年による陰惨な殺人事件、後をたたない大人の犯罪や収賄事件、そして環境問題、教育問題など、人間のありようや心の問題が問われる「ソフト」面での課題が頻発しました。これも障害者福祉が器や制度づくりの進展と併せて「生活の質（QOL）」や、「心のバリアフリー」が問われることと同じ根元をもつ問題です。

豊かな21世紀を見据えるために

様々な発展の中で、なぜこのような大きな社会問題を抱え込んだのでしょうか。

私は、その背景として、「20世紀は戦争の世紀だった」ことの認識が薄れているからではないかと思えてなりません。20世紀を特徴づけるマスコミの特集にもその認識が弱いように思います。戦争は、人が人を大量に殺し合い、人の生命と人権が最も粗末にされる争いです。しかも、殺人が合法的に認められ奨励される最も残酷な仕組みです。悲惨さから言えば最近の多発する殺人事件の比ではありません。人の生命と人権が軽んずられる社会で障害者が大切にされないことは歴史が証明しています。

さらに、多くの戦争は、ヒューマニズムの名を借りることはあっても、経済力・権力を得るための勢力争いです。福祉とは無縁で対立する戦いです。

2001.2.17 梅原司平さん（ギター）と共に、思いを歌ごえにのせて～

自分らしく豊かに生きる

障害者福祉の「器づくり」はこれからも確実に広がっていきます。ことばは悪いのですが「のたれ死ぬ」心配はありません。しかし、人間の尊厳が守られ人間として豊かに自分らしく生きるための「生活の質」が、果たして高められていく21世紀となるのでしょうか。心のバリアフリーの問題は、「効率化や便利さ」とイコールではありません。その意味では、老人介護問題の動向を含め、福祉問題の動向は不安で心配な状況がたくさんあります。利潤追求の目玉としての福祉産業への企業の参入も更に拡大してきます。そして、施設運営も慈善事業やボランティア精神だけでは対抗できない時代に突入します。「器づくり」の進展とは裏腹に、弱者が厳しい状況を強いられる不安が高まります。私たちは、人まかせではなく「生活の質」を高めるために、絶えず要求しチャレンジすることが大切です。多くの人は、障害者のその生き方に共感し支援するのです。けっして「かわいそう・きのどく」と応援しているのではないはずです。とりわけ作業所は、絶えず新たな課題にチャレンジし続けないと現状を維持することすら難しく後退することにつながります。

今、もみじ作業所は、身障ホーム、グループホーム、地域交流スペースづくりにチャレンジしています。そのために必要な約二億の自己資金づくりに「夢づくり応援団」の呼びかけに取り組んでいます。一緒にがんばりましょう。

身障ホーム
グループホーム

夢づくり応援団

―私たちの夢を応援して下さい―

中国地方初の複合生活施設建設をめざして

身体障害者の生活する「身障ホーム」、知的障害者の生活する「グループホーム」（緊急一時やレスパイト利用も可能）、また地域の人にも利用していただくための「地域交流スペース」の合築施設建設には、約2億円の自己資金が必要です。

1日も早く、安心して暮らせるホームがほしいと言う障害者・親の願いを実現するために、皆様方のご支援をよろしくお願いします。

2億円の資金づくりにご協力をお願いします。

●寄付　個人 1口　3,000円
　　団体 1口　10,000円
●作業所に持参していただいてもOKです。

★郵便振替
口座　夢づくり応援団
番号 01350-5-19452

お仕事紹介シリーズ パートⅡ

クッキー・パングループ

ああ！いそがしい

クッキー・パングループは、十名の仲間と職員四名の授産グループです。

材料を計量し生地をつくる人、その生地を成型し天板に並べていく人、袋を準備し焼き上がった商品を詰めていく人、使い終わった天板をみがく人、伝票を書いて納品の準備をする人、などなど、それぞれの役割に責任をもって取り組んでいます。集中するあまり休憩時間を忘れてしまう人もいるほどです。

また、自分の担当の仕事が忙しい時には、「○○さん、交代してー」「○○くん、これお願ーい！」など、状況に応じて自分たちで連携をとって進めています。

秋のバザーシーズンなどの繁忙期は、生産に追われ忙しい毎日です。しかし自分たちのつくった商品を喜んで頂けることが励みとなり、皆誇りを持って仕事をしています。

安全でおいしいものを

私たちのグループは「身体に安全でおいしいもの」づくりを目指して材料の素材にこだわり、厳選されたよいものを使用しています。

昨年夏より水は塩素等の不純物を取り除いた「純水」を取り入れました。

小麦はすべて国内産。もちろん添加物は一切使用していません。

クッキーは、定番人気のオリジナルクッキーをはじめ、全部で十一種類の商品を展開しています。なかでも特徴的なのは、売り上げ下降気味の夏の暑い時期向けにと開発したちょっぴり辛口のチーズポキット、アレルギーのある方でも安心して食べていただけるポテピなど。いずれもついつい手の出る味で、ご好評を頂いています。

「おいしいパンをつくりたい」

「もっと注文ほしい」

「いろんなクッキー作りたい」

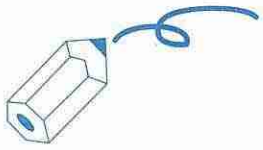
ねがいは大きな力となって

ぞくぞくと新商品が出てます

以前は、「パンが翌日には硬くなってしまう」、「水分が少ないのは」、などの声が寄せられていました。これらを改善す

広島市授産振興センター主催のクッキーづくりに講習会やラッピング講習会に加し、よりよい商品づくりのために学

誌



2月

忘年会
勵、電気一斉点検
デー
養護学校見学交流、
日参加
場求人面接会参加、
スティバル出店
保育園餅つき大会出店
チャリティコンサート
会3
訓練　B－3（～15日）、
んばるデー
ザ」出店（～29日）
リスマス会
祉会第4回評議会・第
会
ート出店
生実習来所、
訓練　C－4（～20日）
ーグループよりクリス
ゼント
報訓練
祉事務所訪問調査
バ活動　No. 3
ホームボランティア説

御下賜金伝達式
員大掃除、
ーナス支給式
職員・後援会忘年会
駆除作業

11月

3日　廿日市養護学校文化祭出店
4日　安田文化祭・女学院文化祭委託出店
5日　街頭カンパ活動　No. 2
　　県立広島養護学校・西区民祭り出店
9日　瀬野川中学校他見学来所
10日　吉島中学校見学来所
13日　京都太鼓センター慰問公演
16日　生活自立訓練　A－3（～18日）
17日　吉島小学校との交流会
　　藤井克徳氏見学来所
19日　吉島小ＰＴＡバザー出店
20日　生活自立訓練　D－3（～22日）
21日　梅原司平チャリティコンサート実行委員会2
24日　広島市立養護学校高等部見学来所
26日　観音小学校バザー・ろう学校文化祭出店
28日　鳥羽氏第2回公開審理
29日　ひかり協会・作業所連絡懇談会

フレフレ　なかまから　いつも　元気をもらって…

MOMIJI 応援団

野津訓子さん

もみじ作業所とのかかわりは、平成五年に生協ひろしま中区福祉委員会で作業所を見学した時からです。障害をもちながらそれぞれの仕事に真剣に取り組んでいる仲間を見て、何か私にも出来る事はないだろうか、と。

現在、仲間のクラブ活動で生協の登録ボランティアさんの協力を得て、お菓子や簡単な料理などを作っています。

料理クラブでは、仲間の自主性を大切に、仲間が食べてみたい物や作りたい物の希望に添うようにし、出来るだけ仲間に作業をしてもらうようにしています。少し不自由な手で果物を切ったり、飴を包んでくれるＹさん、クリームの泡立てならまかしといてとＳ君、黙々と細かい作業を進んでしてくれるＴ君、お茶とコーヒーは僕の番と張り切るＫ君…みんなもみじの仕事をしている時の顔と違ってリラックスして楽しそうです。

飾り付けがすみ完成したケーキに「出来た」と歓声が上がり、形が不揃いだけどあつあつのコロッケに「やった」と笑顔。

仲間が好きでお菓子や料理作りが好きな自分が、応援団の一人としてこれからもささやかながら続けていけたら……と思います。仲間の元気をもらいながら……

現在、生協ひろしまの地域福祉推進委員として御活躍されています。

もみじ福祉会でも、評議委員、後援会副会長…と、1人2役、いえ、3役も4役も担っていただいています。

キミのハートをとぐろ巻き！

年男・年女シリーズ

身障ホーム・グループホーム建設実現に向けて頑張ることが一番。
個人的な目標は、メル友をとりあえず全国に500人作りたい。500人達成したら次は1000人、2000人と目標を増やしたい。
１番目は必ずやらなければならない。
２番目は本当に実現出来るかなあ？

小坂　泰嗣

2001年を元気で乗り切ろう。

児玉勢津子

今年はヘビ年にちなんで、
「彼女のハートをとぐろ巻き！」かな？

木村　忠孝

研修報告　～共作連事務担当者研修～

会計制度が変わる！

国は、福祉の見直し、社会福祉基礎構造改革の四半世紀ぶりに会計制度を改正し、「社会福祉法人会計基準」を新たに定めた。

「社会福祉法人会計基準」は、原則すべての法人に適用され平成十二年四月一日から実施されている。ただし、措置費施設、現行の経理規定準則が適用されていない施設は現行のまま、授産施設は別途通知するとなっている。

Ⅰ 新しい会計基準のポイント

①法人の経営努力が反映される会計

●法人の経営状態を明確に反映するため、新たに損益計算の考え方を導入し、法人の自主的な事業への取り組みを支援する。

(1)減価償却方式を取り入れることにより、建物等の固定資産を適正に評価する。

(1)規制緩和の一環として大枠の基準とし、詳細な記載については法人の裁量とする。

②法人単位の会計

法人全体として自主的な経営努力が反映されるように、従来の本部会計と施設会計の区分をなくし、利用施設に移行する施設を経営する法人内での資金の移動を容易にする。

③理解しやすい会計

(1)情報公開に対応した簡潔、明瞭な財務諸表とする。

(1)社会福祉法人として高い公共性に鑑み、当該年度における資金の収支が明確になるよう、資金収支計算書により予算および決算を作成する。

Ⅱ 新会計基準の問題点

①経営の効率化と処遇問題

支援費収入などを建物資金や借入金償還など自由にできるが、経営効率を追及するあまり、利用者に対するさまざまな形でサービス低下が行われるのではないか。

②減価償却費の取り扱いの疑問

減価償却制度導入によって事業活動収支が実質赤字になるのではないか。

建物等の国庫補助を除いた部分の自己資金部分が実質の赤字になる。

③利用者の排除や契約解除の心配

儲からないことにサービスを提供しない。

契約時から、重度は排除される。

また、利用料の長期滞納者は契約解除される。

…こういう心配が考えられる。

Ⅲ 支援費支給方式

措置制度から利用制度の移行にともない、これからは行政は利用者に対し支援費として補助し、その補助金を受けて利用料を施設に支払うという形に変わる。支援費の設定は重度とそれ以外を二から三区分に分けて、障害の程度に応じて単価が違う方法が考えられているが、詳しい内容が提示されていないのが現状。

Ⅳ 授産施設会計基準

授産施設は、社会福祉法人であるとともに、製品製造等の授産活動を施設の目的として行い、それにより得た収入を工賃として利用者に支払うという、授産施設特有の会計処理を必要としている。

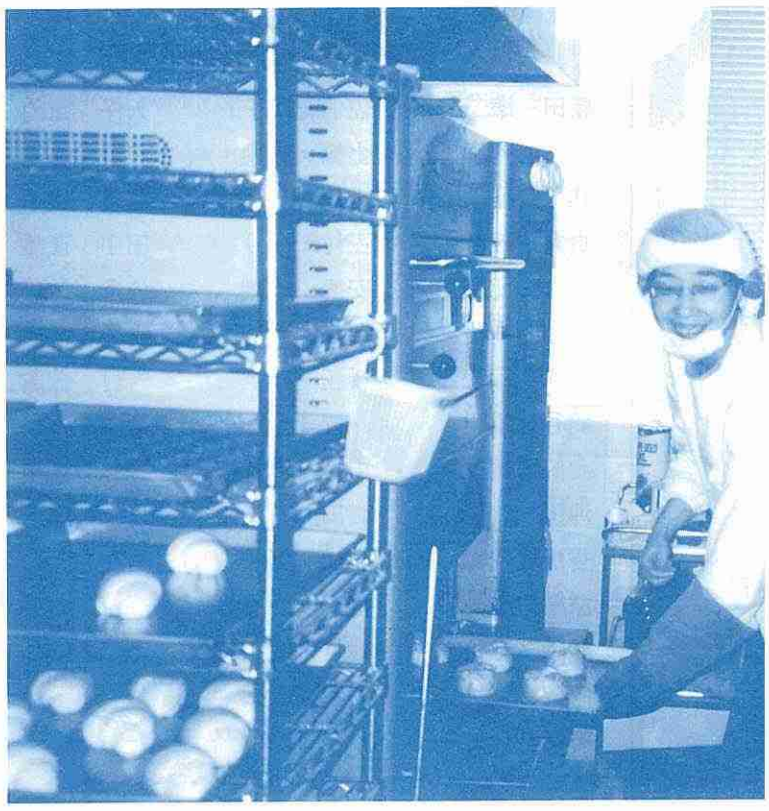
新会計基準に準じた形で骨格が形成されている。

授産施設と他の施設を経営する場合は、会計単位の内部に経営区分を設けること。

実施時期は、原則平成十三年四月一日　但し、当分の間従来のままでよい。

以上のことが主なる改定で、これからは、経営の効率化と利用者の処遇向上の両立が求められるが、前述のように豊富なマンパワーとヒューマニズムの求められる福祉労働が「効率化」の追及と相和するのか、大いに疑問である。

（事務部　池田　光）



いま、まさにパンが焼き上がりました!!

組んでおられる保護者の方に来て頂く講習を受け、レシピや製法を見直しました。この直後には注文が倍増し、今ではいつでも柔らかくおいしいパンがつくれるようになりました。

パンの講習を受ける中で刺激を受け、仲間の間から「新しいパンをつくってみたい」「パンの種類を増やしたい」と声があがるようになりました。

このような中から、ピザやカレーパン、新チーズパンなどの新商品が生まれています。

仲間の「こんなパンをつくりたい」「もっと注文がえるよう頑張りたい」といった願いが大きな力となってここまでやってきました。

しかし仲間や職員だけでできたかというと違います。買ってくださる方、広めてくださる方、そしてボランティアさんの存在が私たちグループにとって大きな支えとなっています。

もっとおいしいクッキーやパンをつくっていき、そして多くの人に喜んでいただけるよう、力を合わせて頑張ります。

これからもよろしくお願いします。

行事日

1月

5日　新年互礼会・大もちつき大会
11日　生活自立訓練　A－4（～13日）
15日　生活自立訓練　D－4（～17日）
16日　梅原司平チャリティコンサート実行委員会4
　　西福祉事務所訪問調査
23日　クラブ活動
25日　安佐北福祉事務所訪問調査
26日　高橋実先生事例検討会

はみ出し日誌

12月26日
宮内庁より
御下賜金を
いただきました。

年に一度の
ハレ姿!!
みんな、見て、見て!!

2日　保護者
5日　クラブ
6日　地域
7日　広島
　　ゲー
8日　福祉
　　人権
9日　なか
12日　梅原
　　実行
13日　生活
　　共作
14日　「夢
15日　自治
　　もみ
　　36回
16日　広商
18日　司法
　　生活
20日　プロ
　　マス
21日　避難
22日　安佐
23日　街頭
25日　グル
　　明会
26日　宮内
27日　仲間
　　納会
28日　大掃
29日　全館

改正!! 社会福祉事業法

○○○ 社会福祉増進のため？ ○○○

社会福祉事業法が制定されて五十年。このたび大幅に改正されることが決定しました。その改正の内容は？　改正による影響は？　一緒に考えていきたいと思います。

社会福祉事業法が制定されてから五十年。これまでほとんど大きな改正は見られなかったのですが、昨年の五月、社会福祉事業法等の改正案として成立し大幅に改正されることが決定しました。戦後五十五年が経過し、わが国の社会・経済が大きく変化したことによる国民の福祉に対する意識やニーズが多様化し制度に無駄や機能不全が生じてきたことが改正される理由のようです。

少子高齢化社会を迎え、今までは福祉援助を必要とする人は一部の人だけと考えられてきましたが、その対象はすべての国民へと広がり、国の財政破綻にも起因して応分の本人負担を求める社会保険方式の導入が叫ばれるようになったのでした。

改正の内容は…

内容としては…

(1)措置制度を撤廃し、利用契約制度へ移行する。

措置制度の撤廃による、公的保障の後退になりかねない補助金への移行は、本人の負担の増大、補助金の在り方そのものが措置費と比べて伸び率が高くなること、情勢や財政事情に左右されやすいことなどから、ますます厳しい運営を強いられることが予測されます。障害者自身が個人契約によって、施設や福祉援助を選択できることは評価できますが、選択できるほどの施設の絶対数がない、サービスの内容がそれほど充実していない、選択する個人へそのサービス内容が十分に情報として提供されていない、という現状にはまだまだ課題があると言わざるを得ません。

(2)利用者保護のための制度創設

何か問題があった場合の権利擁護システムの構築は以前から求められていることですが、この点については、成年後見制度の確立、社会福祉協議会に地域福祉権利擁護事業の委託、運営適正化委員会の設置などによってその対応が考えられています。しかし、成年後見制度は財産管理が主な内容であり、地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助事業）は、活用するためには本人の財産負担がかかり、所得の低い人にとっては使いやすいとは言えません。また、運営適正化委員会も各都道府県に一カ所の設置では、きめ細やかな対応は期待できません。

(3)社会福祉事業の充実

今回評価できることとしては社会福祉法人の設立要件の緩和小規模通所授産施設制度の創設があげられます。これは共同作業所全国連絡会が長年要望してきたものであり、内容面においてはまだまだ不十分さを感じつつも、制度創設についてはおおいに評価することができます。

仲間を中心に!!

サービス評価基準の導入や会計基準の見直しなど、今回の社会福祉基礎構築改革によってこれまでの社会福祉システムが大きくかわろうとしています。まだ、具体的なことが提起されていないものも多く、今後の動向から目が離せません。

我々が今まで大事にしてきたもの、障害を持つ仲間を主人公とした実践が保障されるよう、今後も社会の動向もふまえながら、働きかけていかなければなりません。

後援会コーナー

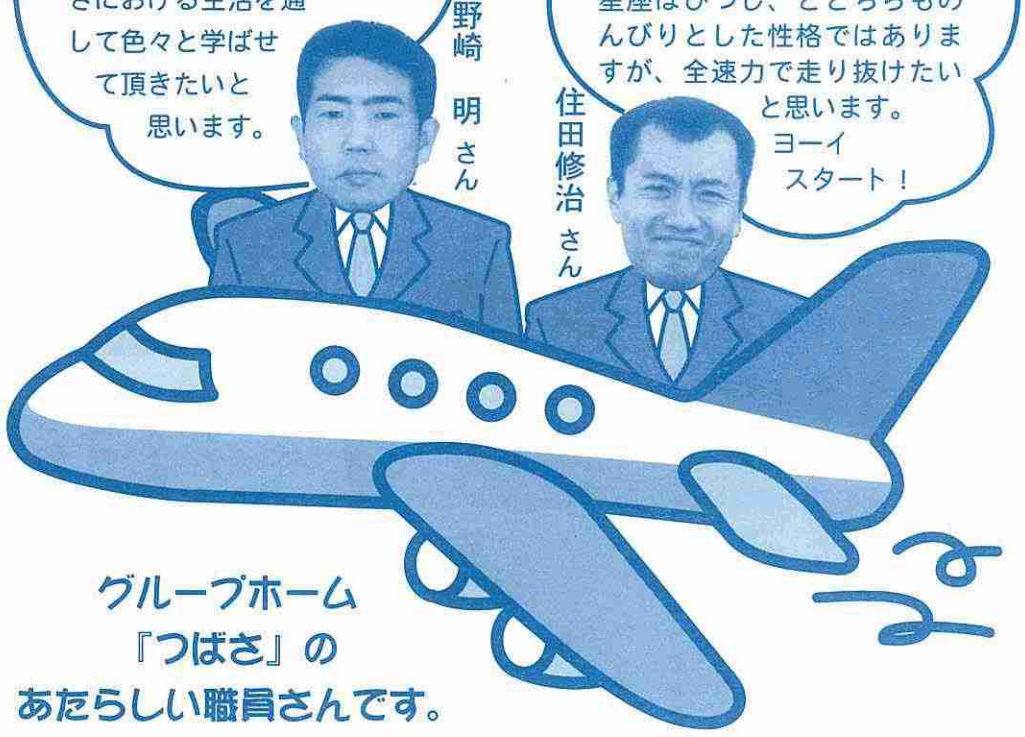
本年度、後援会費を納入頂いている、個人・団体の皆様（前号続き敬称略）

藤田　準二	佐伯紀代子	久保　正道
御堂河内幸子	土橋　広明	藤葉　祐造
林　征子	小島　隆	北谷　優子
貞丸　敏彦	三村ミドリ	田中　茂雄
西村　元子	安徳　剛	佐倉　敏美
須藤　由美	宇都宮　桜	吉井　充
山本　幸江	新江　義雄	吉村　公宏
北谷　昭正	一柳ミヤ子	須本　幸代
瀧口富美子	中村　博行	平井　充晴
沖田　仁	高田　尚	日下　洋子
香川紘一郎	小松　保子	
深屋　恵子	宮内ゆかり	
熊谷　雅美	妙見迫敏子	
岡田　信子	向台　教幸	
田丸整形外科		

おねがい

後援会ではグループホーム・身障ホーム建設支援のため、「書き損じハガキ・未使用切手等の収集キャンペーン」と「ホーム建設募金箱設置運動」を開始しました。募金箱（高さ11㎝・直径9㎝の筒型）を置かせて頂けるお店・会社・団体などを探しています。
ぜひご協力お願いします。

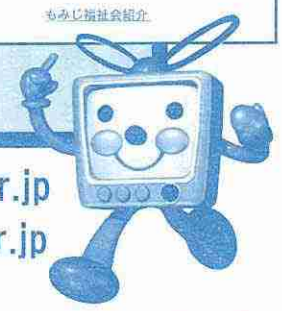
つばさをひろげて…　グループホームに全員集合!!



グループホーム『つばさ』のあたらしい職員さんです。

ホームページができました!!

ＩＴ化の波を受け？
もみじ作業所にも、
ホームページができました。
まだまだ完璧とは言えませんが、
みなさんの声を反映させた、
楽しいサイトにしていきたいと
思いますので、ぜひ遊びに来て
ください。



http://www.fukushi-momiji.or.jp
E-mail info@fukushi-momiji.or.jp

ご寄付ありがとうございます

もみじ福祉会後援会　様
仲間の資金作り委員会　様
吉島女性会　様
加藤寿美子　様
中川　繁子　様
瀬崎　宣利　様
小迫　克子　様
三村スエノ　様
㈲優建　中村　様
ＪＲこばと子ども会　様
面出千代嗣　様